

数理解析研究所講究録 629

短期共同研究

概均質ベクトル空間の
最近の発展

禁帯出期間

62.10.20—10.27

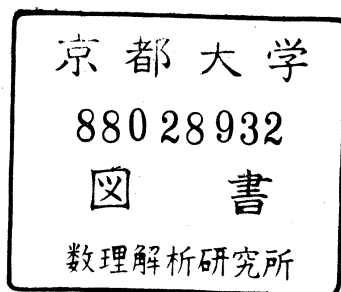
数研図書室

京都大学数理解析研究所

1987年6月

RIMS *Kokyuroku* 629

Recent development of theory of
prehomogeneous vector space



June, 1987

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto, Japan

はじめに

この講究録は1986年9月中旬におこなわれた概均質ベクトル空間の研究集会（短期共同研究）の結果をおもにまとめたものです。特に意識したわけではありませんが、最近、海外でも概均質ベクトル空間の研究が活発になってきておりこの講究録でもそのことが読み取れるかと思えます。もともとが素朴な概念であり「数学のあちらこちらに自然にあらわれる」（Rubenthaler氏（ナンシー大学））ものですので、それと意識せずになされている関連したおもしろい研究があるのかも知れません。我々のささやかな寄与が新しい発見につながってゆくことを期待しております。

研究代表者 室 政和

短期共同研究
概均質ベクトル空間の最近の発展
報告集

1986年 9月16日～ 9月19日

研究代表者 室 政和 (Masakazu Muro)

目 次

1. 特異点の解消と Igusa local zeta functionの計算----- 1
筑波大・数学 木村 達雄 (Tatsuo Kimura)
2. 単純代数群の正則概均質ベクトル空間の b- 関数について-----31
筑波大・数学 笠井 伸一 (Shin-ichi Kasai)
3. ガロア・コホモロジーと概均質ベクトル空間の普遍推移性-----82
筑波大・数学 細川 尋史 (Hiroshi Hosokawa)
4. 概均質ベクトル空間のゼータ関数の関数等式にあらわれる MATRIX の
DETERMINANT について (REDUCE3.2の利用) -----98
高知大・理 室 政和 (Masakazu Muro)